

★宿泊税活用検討意見聴取まとめ

※活用可能額170,000千円（税込見込190,000千円－④徴税経費・広報経費等20,000千円）

（設問 1）事務局にて選定した事業（資料参照）のうち、宿泊税を充てて実施することが適切であるとお考えものを5つお選びください。また、理由も教えてください。

（回答件数）  
※アンケートは宿泊事業者向けに実施したもの

(千円)				(千円)									
施策項目		実施希望事業	事業費		宿泊税充当額	選択数	理 由	備 考	新規or 拡充	担当課・係	パプコメ (R6.10実施)	アンケート (R6.8実施)	アンケート (R7.7実施)
①美しい村 (まちなみ景観)	骨	無電柱化整備計画策定  ☆美しく・災害に強いまちづくりのための無電柱化整備。	7,000	➡	7,000	2	○美しい景観、町並みを大切にしている軽井沢町にふさわしい事業。防災対策にもなる。 ○無電柱化により景観上も良く、歩行、サイクリングにも安全で、観光客へ優しい軽井沢をアピールできる。また、災害時の被害も未然に防げる。		新規	地域整備課道路河川係	148	25	55
		椅子型階段昇降機の設置（追分郷土館）  ☆誰でもが利用できる施設になることで博物館の価値が高まり、あらゆる人が学びたいことを学べる場とすることができる。	5,500	➡	5,500	0			新規	生涯学習課文化振興係			
		追分津軽屋保存修理事業（追分）  ☆宿場体験や当時の再現を展示、追分区との伝統行事の連動もすることで、町全体を「時代をめぐる博物館」とする。	120,000	➡	120,000	1	○軽井沢町内では貴重な宿場町の名残を残す歴史的建造物であるところ。明治以降の避暑地のカラーの旧軽井沢に対し、江戸期の宿場町の風情を残す追分宿エリア一帯の開発の礎とする。	債務負担240,000のうちR8年度分	新規	生涯学習課文化振興係			
②安心・安全 (防災・医療)		歩道整備計画策定（町道）  ☆町道の新設・改良により通行者の利便性や安全性を向上させる。	5,000	➡	5,000	1	○散策・サイクリングに歩道の整備は、最優先で観光客にお返ししたい。		拡充	地域整備課道路河川係			
③快適な旅 (観光振興)		AIデマンド交通の導入  ☆公共交通空白地等の解消をするため、乗降ポイントや運行形態など、地域の実情にあった公共交通網を確立させる。	120,000	➡	66,000	2	○旅行者並びに住民にとっても二次交通の整備は必要不可欠。渋滞緩和や二次交通の充実の一助となるのであれば実施すべき。	予算額は最大値となるため、実施方法により減額となる可能性あり（120,000千円×55%→よぶの利用率より算出）	新規	住民課交通政策係	91	17	
		雲場池駐輪場の整備  ☆自転車を利用する観光客の駐輪マナーを向上させ、周辺の安全な交通を確保し、周辺住民と来訪者の環境改善を図る。	15,000	➡	15,000	3	○観光振興という目的から見ても雲場池は軽井沢町内の有数の観光景勝地。駐輪場のみならず、駐車場の整備も必須では。 ○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。雲場池周辺の混雑は年々高まっており観光客にも宿泊税の税負担に対する納得感が高いと史料します。 ○町内観光名所で、近年は通年での観光客が来られ、特に紅葉時期は駐輪場あふれている。拡張整備は近々の課題である。 ○町の今回の宿泊税の導入の成果を見えやすい形で町民に訴えられると思います。		新規	観光経済課観光商工係			
		ユニバーサルツーリズム対応機器（設備）およびライセンス取得に対する補助  ☆誰もが気兼ねなく快適に旅行できる環境を整備し、ユニバーサルツーリズムを促進させる。	3,000	➡	3,000	0		半額補助（上限500千円）	新規	観光経済課観光商工係			

③快適な旅 (観光振興)		<b>雲場池駐輪場用地の借上げ</b>  ☆雲場池駐輪場を整備し、周辺環境の改善を図るための用地を確保する。	1,000	→	1,000	2	○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。雲場池周辺の混雑は年々高まっており観光客にも宿泊税の税負担に対する納得感が高いと史料します。		新規	観光経済課観光商工係			
		<b>観光協会や旅館組合・ホテル協会への委託</b> (新規事業委託)  ☆宿泊税の導入について納税義務者である宿泊客へアンケート実施を委託し、宿泊税の活用方法についての意見を収集する	9,000	→	9,000	2	○今後の観光産業の方向性を決定していくうえで、正しいデータに基づいた戦略が練られるべきである。単なる宿泊者数のデータのみならず、性別・人数別・国籍別といったデータや、顧客満足度に関するアンケートなどを実施し、観光戦略に役立ててもらいたい。 ○実際にお支払いされる宿泊者へのアンケートは最も重要な事業と思います。	宿泊者（観光客）向けの宿泊税の使途に係るアンケート実施を委託（新規事業委託）	新規	観光経済課観光商工係			
		<b>公衆トイレを和式から洋式への変更</b>  ☆誰もが安心して利用でき、観光地としての魅力を高める公衆トイレを整備し、長期的かつだれもが快適に利用できる公共空間を実現させる。	7,800	→	7,800	5	○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。トイレの整備は予算確保が難しいと予想されるところ、宿泊税の財源はこれまで光が当たることがなかった事項への支出を優先したら良いかと考えます。 ○世界各地からの観光客が利用する公衆トイレに和式は必要ない。近々の改修が必要と思う。 ○日本人においても和式トイレを使う人はほとんどいない。海外のお客様が増えてきているなか必要である。 ○宿泊税の導入の成果が見えやすい。また。観光立町として今時のトイレとして和式はあり得ないと思います。	R8は白糸の滝×2基、見晴台×1基、旧軽P×1基、総合グラウンド×2基 @1,300千円	拡充	観光経済課観光商工係			
	骨	<b>宿泊施設のバリアフリー化への補助</b>  ☆バリアフリー化の進んでいない宿泊施設に対し改修・新設工事に対し補助を行うことで、誰もが快適な旅を送ることができる環境を整える。	10,000	→	10,000	2	○バリアフリー化が進めば宿泊客にとって利便性があるのと同時に宿泊税が直接的に宿泊客に還元され、宿泊税のメリットを実感しやすい。一方で観光庁において実施されている補助事業とどう違うのか、併用できるのか、精査が必要である。	半額補助（上限1,000千円）	新規	観光経済課観光商工係	89	29	41
		<b>ラウンドアバウト整備計画策定</b>  ☆すべての人が安全・快適に通行できるラウンドアバウトを整備し、渋滞対策を図る。	3,000	→	3,000	2	○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。ラウンドアバウトは日本では軽井沢が発祥の地であり目に見える交通環境の整備に資金を充てることは税負担に対する納得感を得やすくなると史料。 ○渋滞問題の解決の一助になる。		新規	地域整備課道路河川係			
		<b>宿泊者向けワインイベントの開催</b> ※追加提案  ☆毎年恒例のイベントから脱却し、ワインという新たな切り口を多角的な観光戦略の一つとし、広域的かつ長期的滞在を促す。	3,000	→	3,000	1	○今年初開催の軽井沢ワインデイも盛況であった。軽井沢での滞在型ツーリズムを推進するにはうってつけのコンテンツ。		新規	観光経済課観光商工係			3
④徴税経費・ 広報経費等	骨	特別徴収義務者報奨金	6,869	→	6,869	2	○宿泊税徴収事業者負担の助成補助は当然。 ○宿泊税導入によって現場の宿泊施設やスタッフに金銭的・精神的な負担がいかないように確実に実施して頂きたい。	税込見込×3.5%					
	骨	R8年度分システム改修費	6,700	→	6,700	1	○宿泊税導入によって現場の宿泊施設やスタッフに金銭的・精神的な負担がいかないように確実に実施して頂きたい。	@670千円×10社					
		コールセンター委託事業	7,300	→	7,300	1	○宿泊税導入によって現場の宿泊施設やスタッフに金銭的・精神的な負担がいかないように確実に実施して頂きたい。	宿泊事業者・宿泊客に対する電話対応（6ヶ月）					

「④徴税経費・広報経費等」に関する事業は宿泊税の徴収にあたり必ず実施するものであるため、今回の1.7億円の活用に係る検討では除外します。

①～③まで合計 255,300 (千円)

①～④まで合計 276,169 (千円)

★宿泊税活用検討意見聴取まとめ（設問 1 並び替え）

※活用可能額170,000千円（税込見込190,000千円－④徴税経費・広報経費等20,000千円）

（設問 1）事務局にて選定した事業（資料参照）のうち、宿泊税を充てて実施することが適切であるとお考えものを5つお選びください。また、理由も教えてください。

（回答件数）  
《参考》 ※アンケートは宿泊事業者向けに実施したもの

(千円)				(千円)									
施策項目		実施希望事業	事業費	宿泊税充当額	選択数	理 由	備 考	新規or 拡充	担当課・係	パプコメ (R6.10実施)	アンケート (R6.8実施)	アンケート (R7.7実施)	
③快適な旅 (観光振興)		<b>公衆トイレを和式から洋式への変更</b>  ☆誰もが安心して利用でき、観光地としての魅力を高める公衆トイレを整備し、長期的かつだれもが快適に利用できる公共空間を実現させる。	7,800	→	7,800	5	○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。トイレの整備は予算確保が難しいと予想されるところ、宿泊税の財源はこれまで光が当たることがなかった事項への支出を優先したら良いかと考えます。 ○世界各地からの観光客が利用する公衆トイレに和式は必要ない。近々の改修が必要と思う。 ○日本人においても和式トイレを使う人はほとんどいない。海外のお客様が増えてきているなか必要である。 ○宿泊税の導入の成果が見えやすい。また。観光立町として今時のトイレとして和式はあり得ないと思います。	R8は白糸の滝× 2 基、見晴台× 1 基、旧軽 P × 1 基、総合グラウンド× 2 基 @1,300千円	拡充	観光経済課観光商工係			
③快適な旅 (観光振興)		<b>雲場池駐輪場の整備</b>  ☆自転車を利用する観光客の駐輪マナーを向上させ、周辺の安全な交通を確保し、周辺住民と来訪者の環境改善を図る。	15,000	→	15,000	3	○観光振興という目的から見ても雲場池は軽井沢町内の有数の観光景勝地。駐輪場のみならず、駐車場の整備も必須では。 ○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。雲場池周辺の混雑は年々高まっており観光客にも宿泊税の税負担に対する納得感が高いと史料します。 ○町内観光名所で、近年は通年での観光客が来られ、特に紅葉時期は駐輪場あふれている。拡張整備は近々の課題である。 ○町の今回の宿泊税の導入の成果を見えやすい形で町民に訴えられると思います。		新規	観光経済課観光商工係			
①美しい村 (まちなみ景観)	骨	<b>無電柱化整備計画策定</b>  ☆美しく・災害に強いまちづくりのための無電柱化整備。	7,000	→	7,000	2	○美しい景観、町並みを大切にしている軽井沢町にふさわしい事業。防災対策にもなる。 ○無電柱化により景観上も良く、歩行、サイクリングにも安全で、観光客へ優しい軽井沢をアピールできる。また、災害時の被害も未然に防げる。		新規	地域整備課道路河川係	148	25	55
③快適な旅 (観光振興)		<b>AIデマンド交通の導入</b>  ☆公共交通空白地等の解消をするため、乗降ポイントや運行形態など、地域の実情にあった公共交通網を確立させる。	120,000	→	66,000	2	○旅行者並びに住民にとっても二次交通の整備は必要不可欠。渋滞緩和や二次交通の充実の一助となるのであれば実施すべき。	予算額は最大値となるため、実施方法により減額となる可能性あり（120,000千円×55%←よぶの利用率より算出）	新規	住民課交通政策係	91	17	
③快適な旅 (観光振興)		<b>雲場池駐輪場用地の借上げ</b>  ☆雲場池駐輪場を整備し、周辺環境の改善を図るための用地を確保する。	1,000	→	1,000	2	○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。雲場池周辺の混雑は年々高まっており観光客にも宿泊税の税負担に対する納得感が高いと史料します。		新規	観光経済課観光商工係			
③快適な旅 (観光振興)	骨	<b>宿泊施設のバリアフリー化への補助</b>  ☆バリアフリー化の進んでいない宿泊施設に対し改修・新設工事に対し補助を行うことで、誰もが快適な旅を送ることができる環境を整える。	10,000	→	10,000	2	○バリアフリー化が進めば宿泊客にとって利便性があるのと同時に宿泊税が直接的に宿泊客に還元され、宿泊税のメリットを実感しやすい。一方で観光庁において実施されている補助事業とどう違うのか、併用できるのか、精査が必要である。	半額補助（上限1,000千円）	新規	観光経済課観光商工係	89	29	41

③快適な旅 (観光振興)		観光協会や旅館組合・ホテル協会への委託 (新規事業委託)  ☆宿泊税の導入について納税義務者である宿泊客へアンケート実施を委託し、宿泊税の活用方法についての意見を収集する	9,000	→	9,000	2	○今後の観光産業の方向性を決定していくうえで、正しいデータに基づいた戦略が練られるべきである。単なる宿泊者数のデータのみならず、性別・人数別・国籍別といったデータや、顧客満足度に関するアンケートなどを実施し、観光戦略に役立ててもらいたい。 ○実際にお支払いされる宿泊者へのアンケートは最も重要な事業と思います。	宿泊者（観光客）向けの宿泊税の使途に係るアンケート実施を委託（新規事業委託）	新規	観光経済課観光商工係			
③快適な旅 (観光振興)		ラウンドアバウト整備計画策定  ☆すべての人が安全・快適に通行できるラウンドアバウトを整備し、渋滞対策を図る。	3,000	→	3,000	2	○宿泊税導入の早いうちに具体的にわかりやすい成果が見えやすい改善が図られるべきだと考えます。ラウンドアバウトは日本では軽井沢が発祥の地であり目に見える交通環境の整備に資金を充てることは税負担に対する納得感を得やすくなると思料。 ○渋滞問題の解決の一助になる。		新規	地域整備課道路河川係			
①美しい村 (まちなみ景観)		追分津軽屋保存修理事業（追分）  ☆宿場体験や当時の再現を展示、追分区との伝統行事の連動もすることで、町全体を「時代をめぐる博物館」とする。	120,000	→	120,000	1	○軽井沢町内では貴重な宿場町の名残を残す歴史的建造物であるところ。明治以降の避暑地のカラーの旧軽井沢に対し、江戸期の宿場町の風情を残す追分宿エリアー帯の開発の礎とする。	債務負担240,000のうちR8年度分	新規	生涯学習課文化振興係			
②安心・安全 (防災・医療)		歩道整備計画策定（町道）  ☆町道の新設・改良により通行者の利便性や安全性を向上させる。	5,000	→	5,000	1	○散策・サイクリングに歩道の整備は、最優先で観光客にお返ししたい。		拡充	地域整備課道路河川係			
③快適な旅 (観光振興)		宿泊者向けワインイベントの開催 ※追加提案  ☆毎年恒例のイベントから脱却し、ワインという新たな切り口を多角的な観光戦略の一つとし、広域的かつ長期的滞在を促す。	3,000	→	3,000	1	○今年初開催の軽井沢ワインデイも盛況であった。軽井沢での滞在型ツーリズムを推進するにはうってつけのコンテンツ。		新規	観光経済課観光商工係			3
①美しい村 (まちなみ景観)		椅子型階段昇降機の設置（追分郷土館）  ☆誰でもが利用できる施設になることで博物館の価値が高まり、あらゆる人が学びたいことを学べる場とすることができる。	5,500	→	5,500	0			新規	生涯学習課文化振興係			
③快適な旅 (観光振興)		ユニバーサルツーリズム対応機器（設備）およびライセンス取得に対する補助  ☆誰もが気兼ねなく快適に旅行できる環境を整備し、ユニバーサルツーリズムを促進させる。	3,000	→	3,000	0		半額補助（上限500千円）	新規	観光経済課観光商工係			
④徴税経費・ 広報経費等	骨	特別徴収義務者報奨金	6,869	→	6,869	2	○宿泊税徴収事業者負担の助成補助は当然。 ○宿泊税導入によって現場の宿泊施設やスタッフに金銭的・精神的な負担がいかないように確実に実施して頂きたい。	税込見込×3.5%					
	骨	R8年度分システム改修費	6,700	→	6,700	1	○宿泊税導入によって現場の宿泊施設やスタッフに金銭的・精神的な負担がいかないように確実に実施して頂きたい。	@670千円×10社					
		コールセンター委託事業	7,300	→	7,300	1	○宿泊税導入によって現場の宿泊施設やスタッフに金銭的・精神的な負担がいかないように確実に実施して頂きたい。	宿泊事業者・宿泊客に対する電話対応（6ヶ月）					

「④徴税経費・広報経費等」に関する事業は宿泊税の徴収にあたり必ず実施するものであるため、今回の1.7億円の活用に係る検討では除外します。

①～③まで合計 224,000 (千円)

①～④まで合計 253,369 (千円)



★宿泊税活用検討意見聴取まとめ

（設問2）事務局にて選定した事業（資料参照）のうち、宿泊税を充てて実施することが不適切であるとお考えものをお選びください。また、理由も教えてください。

（回答件数）  
※アンケートは宿泊事業者向けに実施したもの  
《参考》

施策項目		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)		(千円)											
施策項目		問1との重複		実施希望事業		事業費		宿泊税充当額		選択数		理 由		備 考		新規or 拡充		担当課・係		パプコメ (R6.10実施)		アンケート (R6.8実施)		アンケート (R7.7実施)	
①美しい村 (まちなみ景観)		骨	*	無電柱化整備計画策定		7,000		→	7,000	1	●無電柱化そのものには反対ではないが、事業の実施には億単位の予算が必要となってくるとされる。限られた宿泊税収の中での配分には十分注意していただきたい。				新規	地域整備課道路河川係		148		25		55			
				椅子型階段昇降機の設置（追分郷土館）		5,500		→	5,500	1	●骨子にある新税としての新規拡充事業という基準から見て必要性が薄いのでは。				新規	生涯学習課文化振興係									
②安心・安全 (防災・医療)		*	*	追分津軽屋保存修理事業（追分）		120,000		→	120,000	1	●費用対効果がどれだけあるか疑問。文化財の修繕は一般財源でやっていただきたい。積算の数字では宿泊税のほとんどがここで消えてしまう計算となってしまう、宿泊客の理解が得られるとは到底思えない。		債務負担240,000のうちR8年度分		新規	生涯学習課文化振興係									
				歩道整備計画策定（町道）		5,000		→	5,000	1	●上記（椅子型階段昇降機の設置（追分郷土館））同様、新税として新規拡充事業の対象ではないのでは・・・				拡充	地域整備課道路河川係									
③快適な旅 (観光振興)		*	*	AIデマンド交通の導入		120,000		→	66,000	1	●本施策は、町内の移動手段の不便な高齢者及び町内循環バスの不便な地域住民への代替え施策がメインと思われる。町の交通体系全般から検討助成するべきと思う。		予算額は最大値となるため、実施方法により減額となる可能性あり（120,000千円×55%←よぶの利用率より算出）		新規	住民課交通政策係		91		17					
				雲場池駐輪場の整備		15,000		→	15,000						新規	観光経済課観光商工係									
				ユニバーサルツーリズム対応機器（設備）およびライセンス取得に対する補助		3,000		→	3,000				半額補助（上限500千円）		新規	観光経済課観光商工係									
		雲場池駐輪場用地の借上げ		1,000		→	1,000						新規	観光経済課観光商工係											
		観光協会や旅館組合・ホテル協会への委託 (新規事業委託)		9,000		→	9,000				宿泊者（観光客）向けの宿泊税の使途に係るアンケート実施を委託（新規事業委託）		新規	観光経済課観光商工係											

③快適な旅 (観光振興)		公衆トイレを和式から洋式への変更	7,800	→	7,800			R8は白糸の滝×2基、見晴台×1基、旧軽P×1基、総合グラウンド×2基 @1,300千円	拡充	観光経済課観光商工係			
	骨	宿泊施設のバリアフリー化への補助	10,000	→	10,000			半額補助（上限1,000千円）	新規	観光経済課観光商工係	89	29	41
		*ラウンドアバウト整備計画策定	3,000	→	3,000	1	●道路のインフラ整備は一般財源で補うべき。 宿泊客や観光客にどのようなメリットがあるのか不明。		新規	地域整備課道路河川係			
		宿泊者向けワインイベントの開催 ※追加提案	3,000	→	3,000				新規	観光経済課観光商工係			3
④徴税経費・ 広報経費等	骨	特別徴収義務者報奨金	6,869	→	6,869			税込見込×3.5%					
	骨	R8年度分システム改修費	6,700	→	6,700			@670千円×10社					
		コールセンター委託事業	7,300	→	7,300			宿泊事業者・宿泊客に対する電話対応（6ヶ月）					

「④徴税経費・広報経費等」に関する事業は宿泊税の徴収にあたり**必ず実施するものであるため、今回の1.7億円の活用に係る検討では除外します。**

①～③まで合計 **255,300** (千円)

①～④まで合計 **276,169** (千円)

### ★宿泊税活用検討意見聴取まとめ

（設問3）お示した事業の他、宿泊税を活用して実施したほうが良いと思う事業がありましたら、ご提案ください。その際、「宿泊税活用事業選定の基本的な考え方」に沿った内容である必要があります。併せて、可能であれば事業費とその積算をご記入ください。

○軽井沢の歴史的建造物の保全のため、軽井沢ブループラーク事業の推進。ブループラーク認定の建造物に対して、補修費の一部補助。

⇒既に選定事業にある「追分津軽屋保存修理事業」も必要ではあるが、町保有だけでなく民間が保有している歴史的建造物の保全をサポートする仕組みが必要。町が保有し保全していくよりも民間をサポートしていく方がコスト的にも安い。

○環境先進都市・軽井沢としてシェアサイクルの導入。旅行者・住民の二次交通対策にもなる。あわせて自転車道の整備も必要。

○労働者不足への対応

軽井沢町においてはホテルの開業ラッシュが続いている。しかし少子高齢化が進む中でサービス業では慢性的な人手不足がおきている。部屋は空いているが人手が足りていないので予約を受け付けてないといった話も聞く。またアパートの家賃が東京並みに高く、軽井沢で働きたいが住む場所がないといった声も聞かれる。仕方なく隣町の御代田・佐久・小諸といったところから通うことになるが、結果通勤時間帯を中心に渋滞がおきている。他の自治体の取り組みを参考に、軽井沢町においても空き家や空き別荘を活用するなどして、若い世代の働き手へ住む場所を安く提供してもらいたい。町内での通勤が可能になれば渋滞の緩和が期待され、働き手のワークライフバランスを整えることができ、また住民税という形で町の税収も増えることが期待される。

○軽井沢駅（北口）駅前の整備

各宿泊施設の駅送迎車両はすべて南口に行かなければならないルールとなっており、シーズン中は停車スペースもない。北口バスターミナル側に送迎バス乗降場所スペースを確保し、南口と北口を分散させる。これにより交通渋滞の緩和が期待され、観光客の満足度もあがる。またCO2の削減にもつながる。

（設問4）自らが補助事業者や事業受託者として実施したい事業がありましたら、ご提案ください。

○軽井沢町の着地型旅行会社としても、所属する（一社）軽井沢ナショナルトラストとしても、軽井沢ブループラーク事業は町と連携して推進していきたい。

○観光名所・施設案内標識の多言化表示と標識の増設整備（2年度中の完了実施）

○レンタルサイクルの乗り捨て駐輪場の新設整備（3～4年度での実施）

#### （設問4） つづき

○現在、町では宿泊者実績データ収集について、宿泊形態ごとに町内各施設を抽出して依頼をしていると思うが、より精度を高めるためにも軽井沢ホテル旅館組合を業務受託先としてデータ取得を行いたい希望があります。

会員施設にアンケート提出協力を求め、宿泊者数実績のみならずアンケート内容を充実させる事で、今後の観光産業の方向性を決定していくうえで、参考となる資料を提供できると思います。

#### （設問5） その他、ご意見がありましたらお聞かせください（自由記載）。

○軽井沢町が新たに宿泊税を導入するということで、税の使い道は全国的にも注目されるはずなので、総花的に税を使うのではなく、まず軽井沢町として何を大切にしているかの価値観を明確にすべき。一例としてブーダンが「High Value, Low Volume（高価値、少量）」という価値を掲げて、観光客から徴収する「持続可能な開発費（SDF）」がある。自然環境を守り、国内屈指の別荘リゾートである軽井沢ならではの価値観を明確にし、それに沿った使途に税金を使うことが、軽井沢町のブランドを更に高めることに繋がる。

○私は個別事業の推進に反対するものではありませんが、個別事業の全体感を統括する町役場の部署や担当官、あるいは専門人材の採用や、さらには観光協会をDMOに押し上げるなどの「全体を見渡す」ことができる組織や人材がまず必要だと考えています。そのような組織や人材がマスタープランを策定し、その上で個別事業の必要性・妥当性を考えていくような方向で考えていくという方向性を本検討会で議論していただければと考えています

○繁忙期の渋滞緩和対策の具体的な対策 ⇒ パーク＆レールランド施策の実施（多年度計画）

①追分駅前 の休眠地 の町営駐車場新設

②高速道・軽井沢ICからプリンス通りへ入った付近へ、プリンスの協力・理解を得て町営駐車場の新設

③旧18号・軽井沢入口付近への町営駐車場の新設

○宿泊税の使途に関しては、宿泊税を負担することになる宿泊客ならびに税を徴収する宿泊施設がメリットを感じられるようなものに使っていただきたい。

また宿泊税や入湯税が適切な使い方がされているのかを客観的に審査・分析していく専門的な組織（DMOなど）の構築が必要不可欠なのではないか。